

JR東海労ニュース

No.1926

2014年3月10日

JR東海労働組合

統一要求・統一闘争で2014JR春闘を闘おう！⑦

休日出勤解消！年休消化できる要員配置を！
出向社員の労働条件改善をせよ！
社員を自殺に追い込む早め出勤の強要反対！

本部は3月10日、「2014年度賃金引き上げ、夏季手当および諸要求の申し入れ」（申第27号）に基づく、第5回団体交渉を開催しました。

今回の団体交渉は、専任社員の私傷病による欠勤期間、介護休職期間、休日出勤の早期解消、年休の消化できる要員配置、早め出勤の強要について、業務研究・小集団活動について、出向社員の労働条件について議論しました。

会社は、「専任社員の私傷病による欠勤期間、介護休職期間は、契約期間から見れば、法律に基づいて十分な措置をしている。変更する考えはない」と回答しました。また、休日出勤については、「ゼロになることはない」「来年度は増える可能性がある」と示しました。年休の消化については、「世間水準を上回ることをもって失効する年休の買い上げする考えはない」としました。早め出勤の強要については、「強制・強要などしていない」と否定し、QC活動は、「あくまでも自主活動であり超勤として取り扱う考えはない」としました。さらに、出向社員の年休取得が困難な状況、連続夜勤の過酷な労働条件の改善については、「それぞれの出向会社が責任をもって決定するものである」として冷たい姿勢を示しました。

本部は、高齢者が安心して65歳まで働ける環境を会社が責任をもって整えるべき。そのためにも、専任社員の病気欠勤期間を180日、介護休職期間を365日、出向社員の過酷な勤務の改善等を強く迫りました。また、いつまでも解消しない休日出勤と、年休が完全消化できる要員の配置を迫りました。また、社員を自殺に追い込む早め出勤の強要をやめることと、QC提案表彰金の減額・変更は社員のやる気を削ぐことになるとして撤回を主張しました。しかし会社は全く誠意ある姿勢を示さず、対立を確認しました。

全組合員で要求満額獲得に向け奮闘しよう！
次回第6回団体交渉は回答(日時未定)です。

QCやっても支援金は減額！6級提案は表彰金0円！これでは社員のやる気も0だ！

